



エリアの一体化が滞在日数増加になるか
大町・小谷にシャトルバス延長

問 災害復旧の場所は
堀之内の農村広場付近で
ある。

▽委員全員の賛成により可決す
べきものと決定

●平成27年度白馬村水道事業会
計補正予算(第2号)

*収益的支出130万7000
円を追加し3億64万6000円
とし資本的支出130万700
0円を追加1億1558万70
00円とするもの。収益的支出
は、災害による台帳補正箇所増
による増。資本的支出 人件費
の減額と、災害復旧増工分。

▽委員全員の賛成により可決す
べきものと決定。

美しい村と快適な生活環境を守る条例に対する修正案の提案説明

【伊藤まゆみ議員】

現在当村にとって外国人観光客の増減は死活問題。迷惑行為をするのは外国人、日本人を含め一部であるにもかかわらず、外国人観光客の増加を理由づけにすることで、誤解や不快感を与える可能性がある。外国人と特定するような表記は観光政策に馴染まない。

また、多様な価値観がある中、日本語で礼儀作法の意のマンナー、道徳の意であるモラルなど、個人の内面的ものを「マンナーの向上」や「モラルの遵守」と、条例の中に多用することは避けるべきで、削除すべきと考える。

美しい村と快適な環境を守る条例 討論

原案賛成討論

【田中榮一議員】

近年多発してきている来村者と住民との種々のトラブルの発生を受け、地域からは防止するために観光地としてのルールを明確にし、早急に規定することが強く要望されていた。準備段階として、各区長や防犯指導員の方々

にアンケートを実施し、在住外国人の方の意見も参考にしている。世界に名を馳せる観光地として、住民や来村者の安全と安心を提供することは求められる責務である。

【津滝俊幸議員】

以前から村民からの強い要望があり、今回行政側で作られたものである。モラル、マンナーという字句は、外国から来る方と日本人の持つ感覚に違いがあるかもしれないが、条例は外国から来る方だけのためのものではない。

国内のお客様や住民に対しても、守っていくという観点からの条例である。条例を先に制定して禁止条項等を外国語に訳し、生活環境と美しい村に寄与する条例にすべき。

修正案賛成討論

【加藤亮輔議員】

今回の条例は、迷惑行為の防止と礼儀作法及び道徳観の向上を謳った条文が両方入って、非常に紛らわしい文章になっている。白馬の村民、観光客、そして事業者の方々

は、色々な迷惑行為を防止してほしいという観点から条例制定の要望が出ている。迷惑行為の防止に特化した条文を作成すべきだと思う。

白馬村国民健康保険税条例の一部を改正する条例 討論

反対討論

【加藤亮輔議員】

この条例は、番号法に基づいた条例である。番号法の中には、番号を「求めることができる」となっているが、この保険税条例では、「提出せねばならない」と義務強制的な文言である。条例の中身そのものはいいが、新たに番号を記載しなければならないとなっている箇所を、番号法に沿った「求めることができる」規定に変えるべき。

賛成討論

【太田正治議員】

番号法による番号は特定個人の情報に関連付けられており、取扱いには十分な注意が必要である。番号法は公正公平な社会の実現、国民の利便性の向上、行政の効率化を目的に導入されるもので、国保条例の減免申請において記載を求めることは法の主旨に沿っている。記載のないものに対して不利益が生じないように、国から通達が来ており運用上の問題はない。